

## だいとぎよるい 大都魚類(株)

〒135-8109 東京都江東区豊洲6-6-2

☎ 03-3520-8010

FAX 03-3520-8061

網野社長



MSC(CoC) ASC(CoC)

MEL(CoC) ver.1 AEL

ISO22000 &lt;大田支社&gt;

ISO22000 &lt;本社令和11年12月予定&gt;

【HP-URL】http://www.daitogyorui.co.jp/

【従業員】235人（正社員187人、パート48人）

【経営陣】

代表取締役社長	網野 裕美
専務取締役	清水 久
専務取締役	宮澤 栄三
常務取締役	宮田 昭彦
取締役	大野 哲
取締役冷凍第一部長	橋本 等
取締役	珍田 馨
取締役 監査・品質管理室	石原 好博
取締役 情報システム室長	関口 実
取締役監査等委員（常勤）	毛利 任宏
取締役監査等委員	河村 雅博
取締役監査等委員	魚田 克彦
執行役員活魚部長	鍛冶嘉智佳
執行役員大田支社長	市村 順一

【創業】昭和22年10月1日

【資本金】26億2866万円

【決算期】3月31日

【取引銀行】農林中央金庫、(株)三菱UFJ銀行、(株)みずほ銀行

【年商】

決算期	平成31年3月	平成30年3月	平成29年3月
売上高	1028億6700万円	1063億4300万円	1066億800万円
営業利益	2億8200万円	4億9400万円	3億5800万円
純利益	1億9900万円	7億200万円	8億5100万円

【関連会社】丸都冷蔵(株)、(株)築地フレッシュ丸都

【社内組織】▷監査・品質管理室（室長 石原好博、課長 加藤英成）▷総務部（部長 中村哲）、総務課（課長 森治樹）、人事課（課長 細淵茂雄）▷経理部（部長 筒井章勝）、経理課（課長 岩見裕基）、計算課（課長 村岡直美）、営業管理課（課長 毛利篤志）▷情報システム室（室長 関口実、課長 相羽信夫）▷鮮魚第一部（部長 甲地義昭）、近海課（課長 加藤健司）、養殖課（課長 杉村貴男）▷鮮魚第二部（部長 岩見健司）、大衆一課（課長 間米洋平）、大衆二課（課長 神戸剛）▷活魚部（部長 鍛冶嘉智佳）、活魚課（課長 中井英典）▷特種部（部長 板倉知克）、特種課（課長 清水武志）、上物課（課長 永井健司）、低温課（課長 天野哲也）▷マグロ部（部長 金

山泰郎）、マグロー課（課長 林一也）、マグロ二課（課長 栄田和正）▷冷凍第一部（部長 橋本等）、冷凍一課・冷凍二課（課長 大橋正裕）▷冷凍第二部（部長 山崎賢）、凍魚課（課長 西田英司）、海老課（課長 中野逸夫）▷加工品部（部長 菅野幸二）、製品課（課長 星野雄太）、業務・惣菜課（課長 酒居敏）▷塩干部（部長 服部喜宣）、合物課（課長 新名肇）、魚卵・干魚課（課長 郡司稔）▷営業開発部（部長 氏福浩一）、営業開発課（課長 石川英樹）▷海外室（室長 若林文明、課長 木内瑛）▷千住支社（支社長 大原一郎）、管理課（課長 森重博治）、営業一課（課長 井上幸弘）、営業二課（課長 相原浩）▷大田支社（支社長 市村順一）、管理課（課長 内田要一）、営業一課（課長 丸山修）、営業二課（課長 大山良孝）▷成田支社（支社長 廣野安弘）、管理課（課長 榎本剛久）、営業一課（課長 佐々木正幸）、営業二課（課長 島田和紀）

【特徴】東証2部上場、マルハニチロが親会社。足立市場に千住支社、大田市場に大田支社、成田市公設市場に成田支社をおく。

【主仕入先】マルハニチロ、伊藤忠商事、グルメッセジャパン

【主販売先】一正蒲鉾、あ印、海老正

## ちゅうおうぎよるい 中央魚類(株)

〒135-8108 東京都江東区豊洲6丁目6-2

☎ 03-6633-3000

FAX 03-6633-3009

伊藤会長



伊藤社長



MSC(CoC)

ASC(CoC)

AEL

MEL(CoC) ver.2.0

【HP-URL】http://www.marunaka-net.co.jp

【メールアドレス】deguchi@marunaka-net.co.jp

【従業員】211人

【経営陣】

代表取締役会長	伊藤 裕康
代表取締役社長	伊藤 晴彦
取締役副社長	三田 薫
常務取締役	松本 孝志
取締役	島脇 義知
取締役	大須賀幸夫
取締役	山田 雅之
取締役	福元 勝志
取締役	的埜 明世
社外取締役	今村 忠如
社外取締役	足利健一郎
社外取締役	松山 次郎
常勤監査役	鎌倉 照敏
監査役	松行 健一
社外監査役	

社外監査役  
執行役員  
執行役員  
執行役員  
相談役  
顧問

澤野 敬一  
田口 秀幸  
市山 勝一  
田代 充  
大滝 義彦  
小川 征英

【創業】昭和22年7月3日

【資本金】29億9500万円

【決算期】3月31日

【取引銀行】三菱UFJ（築地）、みずほ（築地）、三井住友信託（新橋）、三井住友（築地）、農林中金（本店）、七十七（東京）、三菱UFJ信託（本店）

【関連会社】(株)ホウスイ、柏魚市場(株)、千葉中央魚類(株)、中央小揚(株)

【社内組織】▷総務部（山田雅之取締役部長）、秘書課（星野美保課長 6633-3000）、総務課（出口達也課長 6633-3000）、業務課（大峽清課長 6633-3160）▷経理部（市山勝一執行役員部長）、経理課（金子健一課長 6633-3010）▷計算部（小野順一郎部長）、仕切課（石寄義弘課長 6633-3020）、得意先課（小野順一課長 6633-3030）、在庫管理課（石寄義弘課長）▷情報システム部（三田薫副社長部長 6633-3050）▷広報室（星野美保室長）▷経営企画室（市山勝一執行役員室長）▷安全・安心推進委員会（大峽清委員長）▷業務監査室（津留利明室長）▷グループ管理室（三田薫副社長室長）▷鮮魚部（松本孝志常務取締役部長）、鮮魚第一課（山崎克泰課長 6633-3060）、鮮魚第二課（角井貴課長 6633-3064）、鮮魚第三課（山下直文課長 6633-3067）、鮮魚第四課（ト部見一課長 6633-3071）▷鮮魚第五課（岡幸祐課長 6633-3073）▷特種部（宿輪洋部長）、特種第一課（永野均課長 6633-3100）、特種第二課（辰巳和義課長 6633-3104）、特種第三課（塚本修司課長 6633-3108）▷マグロ部（田口秀幸執行役員担当、岡田匡仁部長、渡辺寿和副部长、寺田寛隆次長）、マグロ課（伊藤聡彦課長 6633-3120）▷冷凍部（大須賀幸夫取締役部長）、冷凍第一課（伊藤榮朗課長 6633-3080）、冷凍第二課（前田真樹課長 6633-3083）▷塩干部（松井誠部長）、塩干課（中村卓路課長 6633-3130）、加工品課（長谷川太郎課長 6633-3140）▷開発部（田代充執行役員部長）、開発第一課（須藤恵一課長 6633-3150）、開発第二課（瀬戸渡課長 6633-3153）、開発第三課（田代充執行役員課長 6633-3162、片桐朗部付特命副部長、杉山清部付特命副部長）

【年商】1077億円

【特徴】水産物卸売業

【主要商品】鮮魚、冷凍魚、塩干加工品

【主仕入先】東洋冷蔵、極洋、日本水産

【主販売先】極洋、三菱商事、太海

## つきじょうおいちば 築地魚市場(株)

〒135-8114 東京都江東区豊洲6-6-2 水産卸売場棟5F

☎ 03-6633-3500

FAX 03-6633-3501



吉田社長

MSC(CoC)

ASC(CoC)

MEL(CoC) ver.1

AEL

【HP-URL】http://www.tsukiji-uoichiba.co.jp

【従業員】204人（正社員190人、パート14人）

【経営陣】

代表取締役社長（物流委員会委員長）	吉田 猛
取締役 常務執行役員（営業本部長 兼物流委員会副委員長）	村山 弘晃
取締役 常務執行役員（管理本部副本部長 兼経理部長）	大竹 利夫
取締役 執行役員（冷蔵事業本部長 兼(株)東市ロジスティクス代表取締役社長）	関 均
取締役 執行役員（札幌営業所長 兼(株)キタシヨク代表取締役社長）	村野 智基
社外取締役	石川 誠
社外取締役	重田 親司
常勤監査役	伊藤 隆彦
社外監査役	室谷 和彦
社外監査役	長沼 徹
執行役員（豊海東市冷蔵(株)代表取締役社長）	田尻 博一
執行役員（管理本部長補佐兼業務部長）	林 勝司
執行役員（営業本部長補佐兼塩干加工品部長）	木村浩太郎

【創業】昭和23年3月9日

【資本金】20億3700万円

【決算期】3月31日

【取引銀行】みずほ（築地）、三菱UFJ（築地・銀座）、三井住友（築地）、中央三井信託（新橋）

【セリ開始時間】鮮魚午前4時40分、ウニ午前5時00分、活魚5時20分、鮮マグロ5時30分、冷マグロ5時40分、海老5時20分

【関連会社】豊海東市冷蔵(株)、共同水産(株)、(株)キタシヨク、東市築地水産貿易（上海）有限公司

【年商】

決算期	平成31年3月	平成30年3月	平成29年3月
売上高	686億2100万円	709億1700万円	732億5700万円
営業利益	9100万円	3700万円	1億1600万円
純利益	7300万円	3億7500万円	7億4600万円

【社内組織】▷管理本部（社長補佐兼本部長 木村洋介、副本部長 大竹利夫、本部長補佐 林勝司）、総務部（部長 瀬戸信行、部長補佐 柳準一）、人事総務課（課長 大木啓太）、経理部（部長 大竹利夫）、決算総括課（課長 望月康由）、情報システム課（課長 田中春光）、業務部（部長 林勝司、副部长 兎本洋平）、資金課（課長 兎本

【セリ開始時間】原則午前11時00分			
【年商】			
決算期	平成30年12月	平成29年12月	平成28年12月
売上高	12億8100万円	13億2300万円	20億8600万円
生鮮	12億7400万円	13億1900万円	
海藻類	600万円	400万円	
塩干加工			
営業利益	1億3200万円	1億7000万円	2億円
純利益	400万円	1100万円	5000万円
【関連会社】「道の駅」恋問館直売店			
【特徴】地元で水揚げされる水産物を道の駅「しらぬか恋問」に設置している直売店で旅行者及び一般消費者に販売。又、消費地市場（中央市場）への鮮魚出荷も年々拡大し、地元産をPRしている。			

## あつけし 厚岸漁業協同組合

## ひろお 広尾漁業協同組合

〒089-2605 北海道広尾郡広尾町会所前3丁目15			
			☎ 01558-2-5115
			FAX 01558-2-5995
【従業員】38人（正社員35人、パート3人）			
【経営陣】			
代表理事組合長			亀田 元教
専務理事			角井 雄二
理事			辻田 宣明
理事			東館 優
理事			関下啓史郎
理事			畠山 実
理事			浜頭 勝
代表監事			野村 知永
監事			上野 雅彦
員外監事			鎌田 利則

【創業】昭和24年7月14日			
【資本金】15億8752万円			
【決算期】12月			
【取引銀行】北海道信漁連、北海道銀行、帯広信用金庫、日高信用金庫			
【セリ開始時間】5月～8月午前7時30分、9月～10月午前6時30分、11月午前7時30分、12月～4月午前8時00分			
【年商】			
決算期	平成30年12月	平成29年12月	平成28年12月
売上高	35億6200万円	36億3800万円	35億2700万円
営業利益	1億5800万円	1億5900万円	1億6000万円
純利益	7600万円	7400万円	7200万円
【社内組織】管理部（部長 長岡郁夫）、信用部（部長 竹浪公毅）、業務部（部長 鈴木定吉）、食品部（部長 野沢篤志）			
【特徴】鮭鱒流網4月～7月、いか釣7月～10月、秋鮭定置8月～11月、沖合底曳9月～4月、つぶ籠11月～4月、助宗刺網12月～4月、蛸空釣9月～7月、毛がに籠11月～12月、いわし巻網7月～10月、ししゃも10月～11月			
【主販売先】仲買人23人			

理 事			新谷 正徳
理 事			田名部英樹
理 事			御厩敷莊三
代 表 監 事			薄井 幸司
監 事			成田 英明
			須田 誠

【創業】昭和24年8月22日			
【資本金】7億8967万円			
【決算期】12月31日			
【取引銀行】北海道信漁連、北洋銀行、北海道銀行			
【セリ開始時間】5月～10月 午前6時00分 11月～4月 午前6時30分			
【年商】			
決算期	平成30年12月	平成29年12月	平成28年12月
売上高	27億4400万円	34億3200万円	33億7600万円
【社内組織】参事：山田耕二 参事補：多川剛、畠山龍太郎 総務部長：佐々木雄助 財務経理部長：北館一也 指導部長：坂拓成 市場購買事業部長：高 亨 新富士市場部長：小野伸敏 総合流通加工事業部長：高橋与一			
【特徴】さけます漁業、遠洋底曳網漁業等の北洋漁業並びに取扱が主力であったが、近年は高鮮度サンマの受入体制確立によりサンマ漁業の取扱が伸長している。又、関連する加工、製氷、冷凍工場等の施設を有し、産地市場としての受入体制が整備されている。			
【主仕入先】さけます漁業、サンマ棒受網漁業、いか釣漁業等の各出荷者			
【主販売先】買参人他各加工業者			

## しらぬか 白糠漁業協同組合

## しらぬか 白糠漁業協同組合

〒088-0304 北海道白糠郡白糠町岬1丁目2番地42			
			☎ 01547-2-2221
			FAX 01547-2-5518
【HP－URL】http://www.jf-shiranuka.jimdo.com			
【従業員】21人（正社員13人、パート5人、嘱託3人）			
【経営陣】			
代表理事組合長			柳谷 法司
専務理事			芦田 廣康
理事			佐貫 貞雄
理事			加藤 直人
理事			山田 明
理事			佐々木 誠
理事			筒渕 太
理事			日下 敏文
代表監事			大岡 敏明
監 事			小林 正樹

【創業】昭和24年8月5日			
【資本金】8億2200万円			
【決算期】12月			
【取引銀行】釧路信用金庫白糠支店、北海道銀行白糠支店			

## くしろし 釧路市設魚揚場（釧路水産物地方卸売市場）

【開設者】釧路魚市場㈱、釧路市漁業協同組合			
【施設管理者（所有者）】釧路市			
〒085-0024 北海道釧路市浜町3-18			
			☎ 0154-22-0191
			FAX 0154-22-9395

## くしろし 釧路魚市場(株)

〒085-0024 北海道釧路市浜町3番18号			
			☎ 0154-24-4811
			FAX 0154-22-7006

【従業員】45人（正社員35人、パート10人）			
【経営陣】			
代表取締役社長			金井 関一
専務取締役			西田 達雄
常務執行役員			宇佐美晴雄
【創業】昭和27年5月25日			
【資本金】1億円			
【決算期】12月			
【取引銀行】北陸銀行釧路支店、北海道銀行釧路支店			
【セリ開始時間】午前7時00分			
【年商】			
決算期	平成30年12月	平成29年12月	平成28年12月
売上高	93億4400万円	107億1300万円	113億3500万円
営業利益	2300万円	2500万円	1900万円
純利益	300万円	1000万円	200万円
【関連会社】(株)釧路水産物流通センター、(株)釧路ファミリーライフ			
【社内組織】営業部、新富士営業部、総務部、管理部			
【特徴】漁業基地釧路港の魚市場です。ほかに消費地市場として、新富士市場があります。			
【主仕入先】釧路機船漁業協同組合			
【主販売先】釧路副港・新富士市場仲買人、(株)マルサ笹谷商店			

## くしろし 釧路市漁業協同組合

〒085-0024 北海道釧路市浜町3番18号			
			☎ 0154-23-8231
			FAX 0154-24-8375

【従業員】15人			
【経営陣】			
代表理事組合長			近藤 龍洋
専務理事			福田 智司

## あつけし 厚岸漁業協同組合

〒088-1128 北海道厚岸郡厚岸町港町5丁目2番地先			
			☎ 0153-52-2101
			FAX 0153-52-3200
【HP－URL】http://jf-akkeshi.com/（厚岸漁業協同組合）			
【従業員】14人（正社員13人、臨時職員1人）			
【経営陣】			
代表理事組合長			川崎 一好
副組合長理事			倉館 建一
専務理事			佐藤 友三
理事			中川 孝之
理事			久保田正紀
理事			中村喜美雄
理事			堀 幸四郎
理事			林 光男
理事			蔵谷 繁喜
代表監事			堀 正幸
監事			小川 泉
員外監事			延原 実

【創業】昭和24年8月20日			
【資本金】18億9500万円			
【決算期】12月31日			
【取引銀行】北海道信漁連、大地みらい信用金庫、北洋銀行			
【セリ開始時間】（朝）午前8時00分 （昼）午後1時00分			
【年商】			
決算期	平成30年12月	平成29年12月	平成28年12月
売上高	46億7000万円	46億4000万円	51億1000万円
生鮮	46億7000万円	46億4000万円	
【社内組織】参事：稲垣敏晃、市場部長：杉田智知、管理課課長：鈴木貴史、業務課課長：桂川貞則、塩澤和弘、中島誠			
【特徴】（厚岸ブランド）カキえもん、あさりえもん、ほっきえもん、えもんほたて、大黒さんま、大黒時さけ、大黒毛がに、大黒ししゃも、大黒しまえび、弁天かき			
【主販売先】買受人28社			

## 本場移転、22年秋供用開始へ

### 室蘭市場

北海道室蘭市は、水産・青果を取り扱う市地方卸売市場本場の全面移転に向けた取り組みを進めている。

先行して水産物部を整備。基本設計を2020年5月末までに取りまとめ、実施設計・施工は工期短縮のため、公募による一括発注とし、8月ごろに事業者を選定。21年3月ごろから施工。22年6月末までの竣工を目指している。「その後、2カ月の間に引っ越し、秋口に供用を開始する計画」（市経済部農水産課）

同市場は1968年に中央市場として開設。老朽化に加え、耐震基準を満たしていないことが判明し、再整備が課題となっていた。

新施設は、現市場から約3キロ先のイタンキ地区に建設。水産物部は、卸売場、仲卸売場、事務所、日産15トンの貯氷30トンの製氷施設、容量5000トンの冷蔵冷凍庫、関連事務所と合わせ、延べ1万490平方メートルとし、現施設よりも1262平方メートル縮小。卸売場は、衛生管理のため閉鎖型を検討する。

現市場の土地は賃貸し、運用益を新市場建設の財源に充て、利用者負担を現状並みに抑える方針だ。18年度の同市場取扱高は水産が4813トン、35億4800万円。青果が1万1859トン、29億2800万円。



現在の室蘭市公設地方卸売市場本場

## F級、C級冷蔵庫を整備

### 仙台市場

仙台市は市中央卸売市場に2018年2月、フロンガス規制に対応した製氷設備・F級冷蔵庫を整備し、19年4月にはC級冷蔵庫「水産荷捌施設」が竣工した。

F級冷蔵庫は仲卸や関連事業者などが冷凍水産物などの保管に使用。庫内はマイナス25度で管理される。C級冷蔵庫はプラス10度からマイナス2度まで設定が可能で、これまで仙台市場内になかった鮮魚類の取り扱いを想定した低温施設となっている。F級、C級冷蔵庫と合わせて場内のコールドチェーン化を進め、計画した設備整備は完了した。

#### 再整備へ調査開始

仙台市は19年度予算に市場整備に関する調査費を計上。コンサルタント会社などによる市場の移転を含めた

再整備への調査を開始する。移転の場合の用地取得や、現地で再整備する場合など、想定されるさまざまなパターンでの時間や費用などについて調べる。19年9月24日に官報の公告を掲げコンサル会社の募集を始めている。



完成した仙台市場の「水産荷捌施設」。フロンガス規制に対応した製氷設備、F級冷蔵庫を整備した

## 食の観光化進行 ホテルも整備

### 京都 奈良市場



▲京都市場にぎわい施設のイメージ図

京都市中央卸売市場は2028年度の全面完成を目指し、再整備工事が行われている。市により周辺地域の観光開発も進む中、セリを見たり、市場の農水産物の買い物や食事ができるようにするなど、観光拠点としても位置付ける。

市場周辺は京都水族館や京都鉄道博物館などの観光スポットが集積。19年にはJR梅小路京都西駅が開業するなど、観光地化が進んでいる。ホテルの新設計画も相次いでおり、20年度には市場の旧水産事務所棟跡地にホテルを核とした複合施設がオープンする予定だ。

複合施設内には飲食店や小売店なども誘致予定で、水産の卸売場や仲卸売場が入る建物と結ばれる。同棟

には約260メートルの見学者用通路を設け、観光客や市民らが吹き抜けから卸売場を見学できるようにする。

関西の他市場でも、観光を絡めた再整備計画が持ち上がっている。26年度までの工事完了を予定する奈良県中央卸売市場（同県大和郡山田市）は、ホテルやイベントホールなどの整備を計画。周辺の道路網の良さを生かして、県への観光客誘致を強化する。また、市場の食材や伝統料理、菓子を食べられるフードホールも設ける。22年度の完成を目指し工事が進む和歌山市中央卸売市場も、余剰地に道の駅を整備する計画だ。

これまで「卸売市場」として、一般の消費者とほとんど縁がなかった各地の市場。「食」を武器に、消費者との距離を詰めようとしている。

## 民間活力を導入し現地建て替え

### 広島市場

広島市中央卸売市場は運営を継続しながらの現地建て替えに向けて準備を進めている。2019年3月には建設基本計画を策定。品質管理及び衛生管理の高度化の要請に対応できる新市場を目指し、民間活力の導入を前提に建設に取り組む。

19年度中に卸売場の間口や温度管理の範囲など各市

場施設の基礎的仕様を調査・検討。民間のアイデアやノウハウを活用すべく、民間事業者や場内関係事業者との調整、対話を進めながら基礎的諸元を設定する。20年度には施設配置や概略平面などを整理した上で各施設の整備順序や事業手法などの基本設計を決定していく計画だ。

## 本港20年秋、南風泊分港22年秋稼働

### 下関市場

山口県下関漁港市場では2013年に策定された高度衛生管理基本計画（19年一部変更）に基づき機能拡張工事が進んでいる。下関市大和町の本港荷さばき所の供用開始は20年秋、同市西山町の南風泊分港は22年秋の予定。

両市場ともに外部からの異物、汚染物質混入を防ぐため周囲を壁とシャッターで覆う一方、荷の搬入時に排気ガスや雑細菌、排気ガスなどが売り場に入らないよう車両を進入させない閉鎖式高床構造を採用する。荷の搬入、選別、陳列、セリ、出荷一などの作業動線が交差しないようゾーニングを施すほか、場内で駆動するフォークリ

フトも電動車を導入する。一連の施設整備に要す事業費は19年現在で137億円の予定。

